



## 【キイトルーダ療法について】



😊 **薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	目安の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
生理食塩液	洗い流し用	15分																						
キイトルーダ注	抗がん剤	30分										この週はお休みです。							この週はお休みです。					
生理食塩液	洗い流し用	15分																						

### 😊 作用

私たちの体の中では、免疫細胞が、がん細胞などの異常な細胞を攻撃、排除しています。  
 しかし、がん細胞は免疫細胞の働きにブレーキをかけ、その攻撃から逃れる事が分かってきました。  
 この抗がん剤は、免疫細胞の働きにがん細胞からのブレーキがかからないようにします。  
 この結果、免疫細胞は攻撃力を取り戻し、がん細胞を再び攻撃する事ができるようになります。

### 😊 治療による副作用

- ・軽度の皮膚障害(発疹、かゆみなど)は、早期におこることが多いです。
- ・注意を要する副作用の**一部**
  - 間質性肺疾患(症状の例:息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など)
  - 1型糖尿病(症状の例:口が渇く。たくさんの水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など)
  - 甲状腺機能障害(症状の例:気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼったい。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど)
  - 重症筋無力症(症状の例:まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど)
  - 薬剤の注入に伴う反応(点滴中または投与後)(症状の例:吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など)
- ・その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。
- ・今後の外来での治療に際して、自宅での症状確認の参考としますので、お渡しした説明冊子の治療日記に記入をして下さい。



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。